

令和8年度 学校経営方針

1 教育目標 校訓「誠実勤勉」「敬愛和親」「積極進取」のもと、新しい時代を主体的に切り拓いていくことができる自立した人間を育成する。

2 校訓と育成を目指す資質・能力の対応

《校訓》 《育成を目指す資質・能力とその内容》

誠実勤勉 実行力：自ら目標を設定し、それに向けて行動する力

敬愛和親 協働力：集団における役割を理解し、目的達成のために他者と協力する力

積極進取 探究力：自らの課題を見つけ、解決に向けて何をすべきか考える力

3 教育目標達成のための具体的な方策

(1) 授業の充実

ア 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、ICT機器等を活用した授業改善や評価の工夫など、積極的に研修に取り組む。

イ 誰一人取り残さないきめ細かな教育を提供するため、授業のUD化を進め、生徒一人一人の実態を踏まえた体験活動や課題解決型学習の充実に取り組む。

(2) 生徒指導の充実

ア 生徒、保護者及び教職員の信頼関係を構築し、特別な教育支援を必要とする生徒や多様な背景を有する生徒など、一人一人に寄り添った指導と支援を行う。

イ 社会的自立に向けた自己指導力の向上を目指し、法令順守と倫理観育成（挨拶、服装容儀、時間厳守、情報モラル等）の指導を徹底する。

ウ 不登校、いじめ、問題行動等の未然防止・早期対応のため、専門機関と連携し、生徒理解に基づいた教育相談を充実させる。

(3) キャリア教育の充実

ア 生徒一人一人が、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる資質・能力を育成するため、教育活動全体を通してキャリア発達を促す指導を行う。

イ 高校三年間を見通した進路指導を行い、生徒が自分の生き方を自分で決定し、自己実現できるよう、生徒個々の意識を一層強化させる。

(4) 特別活動、部活動の充実

ア 学校行事等において、生徒が自主的に取り組むよう支援し、集団への所属感や連帯感を深めさせる。

イ 部活動やボランティア活動等に積極的に参加させ、様々な人達と関わらせることにより、他者を認める心や自己肯定感を育む。

ウ 部活動において、短い時間で集中して取り組む指導を工夫し、生徒に適切な休養を取らせながら、メリハリのある指導を行う。

(5) 総合学科の魅力づくり

総合学科だからこそできる学びを提供するため、魅力ある教育課程を編成するとともに、情報発信を積極的に行う。